

2018 川崎港トライアスロン in 東扇島大会

オペレーションマニュアル【トランジション】

【審判用】

第 1.1 版

作成者	陣川 学士
作成日	2018年10月8日
最終更新日	2018年10月16日

目次

- 2018 川崎港トライアスロン in 東扇島大会 1
- 目次 2
- 体制 3
 - 1. TO・ボランティア一覧 3
- 会場・コース 4
 - 1. スタッフ配置図 4
 - 2. ラック配置 5
- 業務詳細・留意事項 6
 - 1. 共通事項 6
 - 2. 業務別詳細および留意点 7
 - 3. 救護を要する選手の対応 7
 - 4. 制限時刻対応 7
- 備品一覧 7

■略語一覧

TO	テクニカル・オフィシャル(審判員)

体制

1. TO・ボランティア一覧

チーフTO/サブチーフTO一覧

名前		役割	連絡先
青山英司	チーフ	全体統括	
松村一彦	サブチーフ		
浅野拓哉	サブチーフ		

TO一覧および担当エリア

名前	担当・役割	備考・備品
筒井亜由美	トランジション	
青柳雅一	トランジション	
須田靖英	トランジション	
萩原利昌	トランジション	
廣實正人	トランジション	
田福順	トランジション	
竹内史	トランジション	
小金澤光司	トランジション・ランエリア統括	

トイレ前横断路は、トランジション TO で対応する

ボランティア一覧および担当エリア

(なし)

業務詳細・留意事項

1. 共通事項

- ・ コース設営
- ・ トランジションエリアの出入り
 - 選手以外の立入禁止 → 特にキッズの親に注意
 - オープン時間以外の出入りはチーフ、サブチーフに判断を仰ぐ
 - エリア内でのバイク乗車禁止
- ・ セッティング時チェック事項
 - バイクについては細かい規定がないので、ロードバイクであれば OK
 - ◇ キッズの場合はこれに限らず大抵の場合 OK
 - ◇ その他、安全性から判断して危険な場合には、TD、HR に相談する
 - ◇ キッズのみスタンドは付いていても OK
 - ◇ リフレクターはすぐに取り外せなければそのままとする
 - ◇ ハンドル形状は安全性で判断(T バーなど危険でなければ OK)
 - バイクのナンバーシールは付いているか(ヘルメット前面とフレーム左)
 - 規定外のヘルメットでないか(工事用、避難用、通学用など)
 - ヘルメットのストラップの緩みは全選手チェック
 - ペットボトルは専用ゲージでフタをはずさなくてよいもののみ可
 - カメラ・ビデオ・スマホの装着禁止
 - バイクラックへのバイクの掛け方 → ラックの番号が見える方が前
 - キッズが目印として飾りものをラックに付けることは禁止
 - 大きい荷物はエリア内の所定の場所に置いてもらう
- ・ 競技中のチェック事項
 - ヘルメットのストラップ → 違反の場合はその場で注意して修正させる
 - ストラップを留めてからバイクをラックから外す
 - バイクをラックに掛けてからストラップを外す
 - レースナンバーカード → 正しくない場合はその場で注意して修正させる(バイク時は背中、ラン時は前)
 - レースウェア 前開きジッパーの場合、前が開いていたら注意して修正させる。バイク、ランでの裸は禁止
- ・ リタイア選手の確認
 - リタイア申請があった場合、レースナンバーを控え、アンクルバンドを回収する
 - DNS、スイムリタイア、バイクリタイアについてはラックに印をつける
- ・ 競技終了後のチェック事項
 - バイクピックアップの時間は、別シートのタイムチャートに従う
 - バイク引取時の本人確認
 - レースナンバー(ナンバーカード、トランジションバッグ、スイム用のマジック書等)とバイクのナンバーシールとの照合
 - キッズの場合、親が引き取りに来る場合があるが、その場合も同様

- ・ リレーの部に限りスイムスキップを認めます。スイム競技の途中リタイア、制限タイムオーバーに関わらず、リレーの部スイム競技スタート15分後(エンジョイ)／同60分後(一般)にバイク競技をスタートします。計測は行いますが、記録は参考となります。

2. 業務別詳細および留意点

■各ブロック別の審判員とボランティアの配置は、「スタッフ配置図」の通りです。ブロック単位に審判員はボランティアと協力して競技に支障の出ないよう責任を持って、安全を最優先にしてコースの維持管理をしてください

業務・ポイント名	担当者	業務詳細・留意事項
チェックイン チェックアウト	トランジション 担当で分担	トランジションエリアは選手以外入場禁止です。入場の際にはレースナンバーを確認してください。
エリア内監視	トランジション 担当で分担	トランジション内はバイク乗車禁止です。ラックからおろす前にヘルメット着用、ラックに掛けてからヘルメットを脱ぐことを徹底させてください。 選手が交錯しないよう、声をかけてください。
乗車ライン 降車ライン	トランジション 担当で分担	乗車ラインを超えてから乗車、降車ライン手前で下車させてください。

3. 救護を要する選手の対応

■競技運営マニュアルに準じる

4. 制限時刻対応

■最後尾付近の選手で、審判長が適宜判断する。(基本的にはできるだけ完走してもらう)

備品一覧

トラメガ×2 → 数がなかったので1台のみ確保

ガムテープ(2色) → DNS、リタイア選手のバイクラックへの印、コース案内に使用
マジック

キッズバイク吊り下げ用紐

予備の白紙レースナンバーカード、シール、ゴム紐(大会本部受付終了後もらう)

ブルーシート(荷物置場用)